

2011年4月13日

東北地方太平洋沖地震緊急災害対策本部 本部長
内閣総理大臣 菅直人 様

新日本婦人の会会長 高田公子

復興構想会議の性格と位置づけを明確にするとともに、 被災住民と全国民・女性の英知結集のシステムの全貌をしめしてください

未曾有の大震災・津波被害、原発事故に対する連日のご奮闘、本当にお疲れ様です。

菅首相は昨日の記者会見で、復興の進め方の3原則として、①被災住民の声を尊重②全国民の英知を結集③未来の夢を先取りする未来志向を提示し、有識者による「復興構想会議」が14日に初会合をすると伝えられています。

「復興構想会議」の構成メンバーが明るみになるにつれ、少数者による構想のトップダウン方式につながりかねないことをつよく危惧します。日本がかつて経験したことのない規模と内容の復興計画だけに、被災者の願いと国民的英知を総結集する特別の体制と進め方が必要です。以下、お願いいたします。

- 1、「復興構想会議」がどういう性格と位置づけのものか明確にしてください。復興の3つの原則と「復興構想会議」との関係はどうか、被災市町村長の意見や国会議員、各政党の知恵はどう結集するのか、女性・国民の声はどう反映されるのか、計画づくりのすすめ方の全貌を示してください。
- 1、被害の大きい三陸海岸線の自治体の首長や、二重の苦しみのもとにある福島原発の被害自治体の首長の意見がきちんと反映され、長年この地域の防災にかかわってきた研究者や専門家、過去の災害の復興にたずさわった専門家の研究成果や意見を取りいれられる体制と人選、システムづくりを示してください。
- 1、ジェンダー平等の視点で復興計画づくりをすすめる女性を検討過程にたくさん登用するなど、体制的にも見えるようにしてください。
- 1、国民・女性の意見、提案を受け付ける窓口をつくり、その声を生かしてください。